

第5章 学識経験者の所見

平成28年9月28日

学識経験者 大村 勝子

1 はじめに

阿波市第1次教育振興計画は、平成23年3月に策定されています。教育ビジョン(基本構想)は、平成23年度から平成32年度までの10年間となっています。推進計画に沿って前期5年が終了しました。後期計画もすでに策定され、市内の教育ビジョンが着々と進み、教育委員会の皆様のご努力に敬意を表します。

「未来をつくる力 たくましく生きる力 郷土を愛する力」の教育理念のもと、基本目標は、「人が輝く まちが輝く 未来が輝く(阿波の人づくりプラン)」です。このような理念・目標の達成に、124の主要事業を実施され、前期5年間で終了し、これまでの大変な労力を要した関係者の皆様のご努力には心から敬意を表します。本年度「C」と評価されました事業におきましては、後期計画の課題とし、施策に生かされ、目標が達成できますようお願いいたします。教育振興計画に基づいて、所見を述べさせていただきます。

2 所見

◎ 教育総務課

学校施設の整備で、耐震工事も100%完了でき、関係者の皆様のご支援、ご努力に敬意を表します。すばらしい環境の中で、子どもたち・教職員・市民の皆様との連携を深めながら教育活動の充実を念じます。災害発生時の避難場所、様々な行事にも使用することから、今後も維持管理を重視し、教育環境の整備に努めていただきたいと思います。

エレベーター設置工事、バリアフリー化が進み高く評価します。市内の子どもたち一人ひとりが輝き、たくましく生きる力がつきますよう、さらに推進してください。また、早くから1人1台のパソコンを配備し、時代に即した教育が実践され高く評価します。さらに本年度は、各小中学校へタブレット機器を導入し、子どもたちの情報教育の充実、あらゆる教育活動に役立っていることに敬意を表します。

◎ 学校教育課(4～52事業)

教育内容の充実を図る49事業は、98%(A・B評価)の高い割合で実施されています。関係者の皆様の大変な労力、ご努力に感謝いたします。中でも、研究指定校の推進、運動習慣の定着、安全対策では、成果が特に顕著です。指定校とし研修を深めた「学力向上の取り組み」等は、市内すべての学校に普及・啓発をし、子どもたちの学力向上に努めていただきたいと思います。

阿波市学校給食センターは、最新の施設・設備が整い、地産地消も計画的に進められ評価します。教育目標にも掲げられている食育の大切さを各校と連携を密にし、さらに充実した内容になることを念じます。

4・5歳児就園の促進、子育て支援の充実、幼・保・小の交流や連携、幼児教

育体制検討の事業は、保護者のニーズに合わせた対応ができ、目標達成度もよく評価できます。認定こども園も開設され、幼稚園での教育がさらに充実し、推進されるよう期待します。

心の問題への対応の諸事業では、いじめを許さない学校づくりや教職員の指導力向上の研修に力を注いでください。「阿波っ子スクール」の運営では、学校復帰や自立の支援のため、学校・地域・保護者との連携強化を図り推進されておりますことは評価できます。今後も地道な運営、教職員の指導力の向上を期待します。

防災教育の事業では、学校を含む自主防災連合会として地域全体で取り組む実践は安全対策の強化につながります。すばらしい実践が他の地域にも広がり、実践できますよう期待します。

C評価の通級指導教室の計画的な設置では、人的環境、物的環境等の課題もあると思いますが、特別支援教室の充実を推進してください。

◎ 社会教育課(53～124事業)

数多くの事業を実施し、点検・評価する作業は大変だったと思います。関係者の皆様のご努力に敬意を表します。

文化振興のための阿波市文化協会等への助成、生涯学習事業の各種講座の開催、公民館活動の実践、市内図書館4館指定管理契約の更新は評価できます。

養成講座、生涯学習講師団の結成事業では、自主的な活動や運営ができる指導者の育成が急務と思います。講座生の中から指導していただけるよう期待します。また、各講座に参加される方が幅広く地域に広がり、人々のコミュニケーションが図られることを期待します。

スポーツ振興の推進事業では、各体育協会事業をはじめ、総合型地域スポーツクラブ等での自主的で活発な運営を評価します。

スポーツ施設の整備では、計画的に改修や整備が図られ充実しています。各施設の有効活用に一層努めてください。

文化財の保存活用では、県内第3位の埋蔵地数があり、71件もの文化財が所在しての中、文化財専門職員の増員は不可欠で緊急の課題です。資格を有する職員を配置(人材を採用)し、保護体制や調査研究に努めてください。

人権教育では、人権ふれあいフェスティバル、心のリフォーム学級、人権問題講演会等幅広く実践されています。今後も、人権が尊重されるまちづくりをめざし、地道な取り組みを期待します。

3 おわりに

阿波市の第1次教育振興計画(前期)の5年が終了しました。市内の全学校をはじめ、たくさんの施設の改修・新築がなされ充実しています。着実に事業が実施できておりますことに敬意を表します。阿波市職員の皆様、教育委員会の皆様の力強いご支援、ご指導をいただき前進しております。

後期計画も策定され、さらなる阿波市の充実・発展を期待しております。子どもたちから高齢者まですべての市民が輝くまちづくりをめざし、今後とも教育委員会の皆様の力量を発揮してください。

平成28年9月28日

学識経験者 佐光 晴美

平成27年度は、阿波市第1次教育振興計画の前期5年間の締めくくりの年度でありました。この5年間、124もの事業に地道に取り組み、点検・評価を重ねてこられた関係者の皆様に敬意を表します。

この報告書は、議会への報告とともに、市民への説明責任を果たすという役割を持っています。そこで、一市民としての目線から所見を述べさせていただきます。

1 教育委員会の活動状況について

教育委員会会議は、定例会・臨時会が積極的に開催されており、ホームページに公表されている会議録からも教育課題に対し、熱心に議論がなされていることが分かります。また、学校訪問や研修をとおして、情報収集、教育現場の実態把握、意見交換などが図られており、教育委員会の重要性が理解できます。今後とも活動状況を広く情報発信するとともに、市民の意向や教育現場の実情に応じた教育施策が展開できるよう教育委員会活動の充実をお願いします。

2 点検・評価の手法について

各事業の記載事項として概要・目標・内容・一次評価・二次評価・総合評価・事業の方向性の形式は見やすく、PDCA のサイクルを生かし事業を実施していることが分かります。

事業実施内容については、事業によって記述に差があり、数値化することがなじまない事業もありますが、できる限り具体的な説明や特に成果の記述がほしいと感じるものがあります。

3 施策の推進状況について

(1) 学校教育

学校教育において、安心・安全な教育環境を整えることは最優先されるべきものです。校舎等の耐震化率が、すでに100%を達成できていること、地域や関係機関等と連携のもと登下校時の安全確保や不審者対策について様々な取り組みが行われていること、新給食センターの竣工や地域食材の利用促進が進められたことにより食の安全がより確保できるようになったことに A 評価がなされ高く評価できます。また、B 評価となっておりますが、心の問題への対応、特別支援教育の充実にも積極的に取り組み、安心して学べる環境づくりに努力されていることは評価できます。今後とも、様々な危機を想定して安心・安全な教育環境づくりへの取り組みが強化されますようお願いいたします。

平成27年度は、学校教育 ICT 活用事業として多額の予算を投入して、市内全小中学校にタブレット型パソコンが導入されています。その他の学力向上の取り組みと併せて、どのような効果があったのか関心を寄せています。

(2) 生涯学習

学習講座の開催にあたって、市民のニーズに合わせ、講座内容が工夫改善されていることが分かります。今後とも、幅広い世代から数多くの人に参加でき、学習の成果が地域社会で発揮できるような環境づくりが進められることを望みます。

図書館の管理運営については、最寄りの図書館に出向く時がありますが、利用者からの要望に対する回答の公開、イベントの実施等サービス向上に取り組んでいることがよく分かり高く評価できます。昨年度の事業実績との比較があれば、運営状況がより分かりやすいと感じます。将来的には、高齢や乳幼児を抱えている等で図書館に行くことのできない市民へのサービスも拡充され、学ぶ意欲向上の機会となることを期待します。

生涯学習指導者・ボランティアの育成・確保と活用については、毎年C評定が続き、取り組みの成果が得られていないのは残念です。事業内容等大幅な見直しが必要と思われます。

(3) スポーツ・芸術・文化振興

「スポーツのまち阿波市」をめざした取り組みがなされていることは評価できます。シティマラソンへの参加者増も魅力ある運営ができた証ではないでしょうか。また、総合型スポーツクラブが阿波中学校校区にも発足できたことは評価できます。より多くの市民がスポーツに親しめるようクラブの発展を期待しています。

交流防災拠点施設アエルワを活用したイベントが開催され、市民が芸術・文化に触れる機会が増えたことは、評価できます。芸術・文化行事参加者の世代別割合が示されていれば市民全体の事業となっているかどうか判断しやすいと思います。

(4) 青少年健全育成

全国的に青少年による残忍な事件が頻発する中、地域や家庭の教育力を高めることが求められています。健全育成や家庭の教育機能向上に向けた相談活動、補導活動、各種体験活動等、関係機関と連携した各事業の実施は評価できます。体験や活動とその意義・目的が乖離しないよう継続的な取り組みを望みます。家庭教育支援チームの活動が、より充実されることを期待します。

青少年の健全育成には、行政と学校・家庭・地域・関係機関との連携は不可欠です。各事業の具体的実施内容が詳細に記載されることにより、市民の関心・意識も高まるのではないかと思います。

(5) 国際交流

国際化が進展し、国から英語教育改革が次々打ち出されている中、国際感覚豊かな人材の育成は喫緊の課題です。他市町村に先駆けて小学校全学年での英語活動の実施に加え、幼稚園でも英語活動が実施できる体制を実現されたことは高く評価できます。市民対象の英会話教室も継続してほしい取り組みの一つと思われますが、参加者の減少や途中離脱の原因を究明し、よりよい事業展開がされることを願っています。

(6) 人権教育

人権意識を高め、偏見や差別を許さない強い心と行動力を身につけるために、すべての年代層で取り組みを推し進めていくことが必要です。指導者となるべき職員の研修会への派遣、講演会、人権作品集の全戸配布等様々な手法を工夫した人権啓発事業の実施や次代を担う子どもたちへの「ぱあわーあっぷ」事業についても、成果を収められていることは評価できます。人権教育の事業のみならず、すべての事業において人権尊重の視点に立った取り組みの継続をお願いします。

平成28年度からは、教育振興計画後期計画がスタートします。今後とも、阿波市の特色や利点を生かしながら、課題を検証した事業を着実に実施し、市民を主体においた教育行政がますます充実発展されることを期待いたします。